

# 国連主催空中探査講習会 地質調査所で開催

## 1. 目的

E C A F E地域各国の受講者に対して 空中写真による地質の判読法 ならびに航空機を利用する物理探査法を 指導するための講習会

## 2. 開催のいきさつ

35年4月東京で開かれたE C A F Eの地質専門家作業部会 および35年1月バンコックで開かれたE C A F Eの空中写真ゼミナールにおいて 地質ならびに地下資源探査に 空中写真判読法 空中探査法の利用が 討論された結果 E C A F E地域の各国代表は このすぐれた方法を先進国から学びとるため 国連主催で講習会を開催することを決議した。 36年4月国連本部のチャン博士(Dr. T. L. Tchang)ならびに E C A F E事務局の

リー博士(Dr. C. Y. Li) から 国連派遣の講師による講習会場の提供 ならびに教育資料の調達・整備を地質調査所へ依頼してきた。

## 3. 講習会実施要領

- 期 間 36年10月5日～36年11月25日  
 場 所 地質調査所 溝ノ口庁舎  
 講 師 ・アメリカ地質調査所 フィッシャー氏(Mr. W. A. Fischer) (空中写真判読法 全期間)  
 ・カナダ地質調査所 モーレイ博士(Dr. L. W. Morley) (空中探査法 5週間)  
 受講者 30名(東南アジア各国から12名 日本から18名で 地質調査所は6名)



空中探査講習会開講式場  
(高輪プリンスホテル)



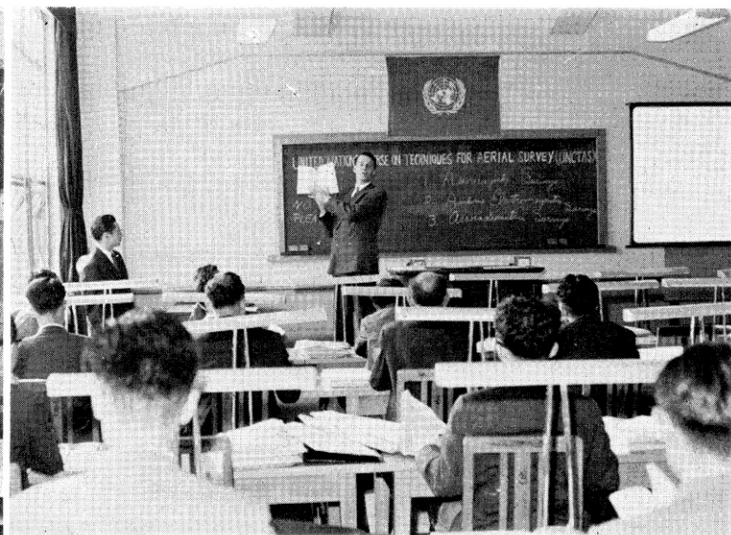
藤崎工技院長の挨拶



兼子所長の挨拶  
左からモーレイ博士(カナダ) フィッシャー氏(アメリカ) チャン博士(国連) 兼子所長・藤崎工技院長・丸安東大教授・山中課長(外務省)



チャン博士(国連)の挨拶



モーレイ博士の講義 (地質調査所の溝ノ口会議室)